

製品名: ATG3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01343**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG3
別名	APG3; APG3L; PC3-96; APG3-LIKE
遺伝子 ID	64422
SwissProt ID	Q9NT62
免疫原	ヒト ATG3 の合成ペプチド

背景

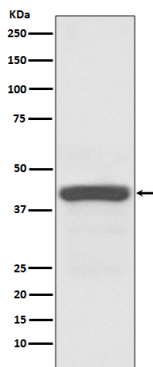
オートファジーとミトコンドリア恒常性維持に関与する E2 様酵素。ATG8 様タンパク質 (GABARAP、GABARAPL1、GABARAPL2、

または MAP1LC3A) とホスファチジルエタノールアミン (PE) の結合を触媒する。ATG12 自身への結合を触媒し、ATG12 の ATG3 への結合はミトコンドリア恒常性維持に関与するが、オートファジーには関与しない。ATG7 (E1 様酵素) は ATG3 と E1-E2 複合体を形成することでこの反応を促進する。

研究分野

細胞生物学

画像データ



ATG3 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Apg3 (Atg3) のウエスタン ブロット分析。